

# 掛川市教育委員会定例会会議録

教育委員会事務局

会議の名称	平成26年11月掛川市教育委員会定例会			
場 所	市役所南館教育委員会室	作 成 者	教育委員会教育政策室 富田正昭	
開 催 日 時	平成26年11月27日(木) 午後3時00分から午後5時00分まで			
作 成 日 時	平成26年12月15日(月)	次回開催日	平成26年12月25日(木)	
資 料	下記会議次第及び別紙添付資料のとおり			
出 席 者	委員長 委員長職務代理者 委員 委員 教育長 教育次長 子ども希望部長	小野恵美子 山本和子 永田孝明 松浦昌巳 浅井正人 平出行良 佐藤益男	学務課長 学校教育課 社会教育課長 図書館長 教育政策室長 教育政策室指導主事 教育政策室教育企画係長 教育政策室教育企画係	中根純一 佐藤裕子 松本一男 村松武 赤堀賢司 豊田彰規 富田正昭 片山能志晴

## 会議次第

- 1 開 会
  
- 2 10月教育委員会定例会会議録の承認について
  
- 3 教育長の報告  
(事務報告及び行事予定)
  
- 4 協議事項
  - (1) 教育委員会11月補正予算(案)について
  - (2) 学校評議員の委嘱について
  - (3) 平成27年度掛川市教育委員会指定研究について
  - (4) 偉人検定について
  
- 5 報告事項
  - (1) 掛川市内小中学校のあらわれについて
  - (2) 市内小中学校長の読書おすすめ本について
  - (3) 平成26年度掛川市全国学力・学習状況調査分析委員会からの報告、  
提言について
  - (4) 第8回かけがわ教育の日の実績について
  - (5) 図書館フェスティバルの実績について
  - (6) おすすめ本「ふくBOOKろ」の実施について
  
- 6 その他
  - (1) 次回定例会の日程等について
  - (2) 教育委員先進地視察研修について
  
- 7 閉 会

## 協議事項

### (1) 教育委員会11月補正予算（案）について

教育次長から、教育委員会11月補正予算（案）について、以下のとおり説明があった。

歳入であります。国庫補助金「公共発掘調査費補助金」182万円は、吉岡下ノ段遺跡に関し、茶園改植に伴う緊急発掘調査が生じたことによる補正であり、本事業は国庫補助事業に該当することから計上するものであります。

寄付金「松ヶ岡整備事業寄付金」950万円は、松ヶ岡保存活用検討委員会から10月はじめに、最終報告書が提出され、松ヶ岡の修復、掛川銀行の復元が提言されたわけですが、この事業は、実施するにしても、市税を投入しない、全て寄付金で賄うという方針でありまして、この経費を見積もるための調査費用のための財源確保の見通しがついたので計上するものであります。

次に歳出であります。歳出の補正総額は、人件費を除き、2,310万3千円です。

補正の主なものとしましては、一つ目が、東海大会及び全国大会出場報奨金234万8千円と、中学校体育館バス借り上げ料、215万3千円であります。これらは、東海大会や全国大会への出場校が多かったことや、開催会場が遠距離であったことなどにより、増額補正するものであります。

二つ目は、「歴史的建造物現況調査費」950万円であります。歳入で申し上げたように松ヶ岡の修復・復元の計画を立て、費用を積算する委託料を計上するものであります。

三つ目は、「市内遺跡発掘調査費」364万円あります。歳入で申し上げたように吉岡下ノ段遺跡の発掘調査を実施する経費を計上するものであります。

四つ目は、「ステンドグラス美術館開館準備費」233万8千円の増額で、主なものは、準備事務のため、3人の非常勤職員を3ヶ月雇用する人件費です。

五つ目は、台風18号により、大東総合運動場多目的広場の防球ネットが破損、また野球場照明塔の電線管が破損し、ともに危険なため修理するものであります。

説明は以上であります。

特に意見はなく、承認された。

### (2) 学校評議員の委嘱について

学校教育課主席指導主事から、学校評議員の委嘱について、以下のとおり説明があった。

学校教育法施行規則第49条等の規定により、掛川市公立学校評議員を委嘱するものです。

東中学校、城北小学校、中央小学校の3校から学校評議員の推薦がありました。その内新任が3名、再任が13名であります。

いずれの方々も信頼が厚く、適任者であります。以上審議をお願いします。

特に意見はなく、承認された。

### (3) 平成27年度掛川市教育委員会指定研究について

学校教育課主席指導主事から、平成27年度掛川市教育委員会指定研究について、以下のとおり説明があった。

平成27年度掛川市教育委員会指定研究についてです。

一つは、「ICT活用」に関する研究で、倉真小学校と大須賀中学校の2校において、平成26、27年度の2年間にわたり研究を進めております。社会の情報化が急速に進展し、学習指導におけるICT活用の推進が強く求められている中、この2校において、授業の中でICTを効果的に活用し、指導方法の改善を図りながら、児童生徒の学力向上につなげていく研究を推進しております。来年10月、11月に2校の研究発表を予定しております。

もう一つは、「確かな学力」研究です。一昨年、本市の全国学力・学習状況調査の分析結果から、小学校において自分の考えを書いたり、説明したりする力に課題があることが分かりましたので、西山口小において、授業でも図書館を活用するなどして、言語活動の充実を図る研究を推進してまいりました。そこで、これを更に発展させ、この言語活動の充実はもとより、「かけがわ学力向上ものがたり」で示したとおり、これからの未来を創り出すために、子どもに必要な「かけがわ型スキル」を育むことについて研究を進めていきます。なお、この研究の指定校は、城北小学校を予定しております。

以上であります。

特に意見はなく、承認された。

#### (4) 偉人検定について

社会教育課長から、偉人検定について、以下のとおり説明があった。

二宮金次郎と掛川の偉人検定につきまして、市内小中学校で道徳や副読本として使用している「この人に学びたい～掛川の偉人ものがたり～」、「なるほど なっとく 金次郎さん」をテキストとして、検定問題を作成し、検定試験を実施することにより、学びへのきっかけをつくり 市民の生涯学習活動をより一層促進するとともに、何よりも郷土を愛する心を育てることを目的に実施します。

これまでの経過に記しました冊子につきまして、昨年度にそれぞれ改訂発行し、「偉人ものがたり」については、市内中学校の全校生徒に配布し、市内書店等において一般販売もしております。そして、「なるほどなっとく金次郎さん」については、市内小学校3年生から6年生までの全児童に、副読本として配布しましたので、検定は、これらを手がかりにして、テキストから学ぶことや、実際に現場に行き行って学ぶこと、偉人の活躍ぶりを深く掘り下げることができる勉強会などを開催し、その学習の仕上げとして試験を行います。

主催は、掛川市と掛川市教育委員会とし、受験対象者は、市内外を問わず、小学生以上を対象とします。実施時期は、来年27年8月下旬、夏休み期間中とし、試験時間は50分で行います。検定受験料として税込み1,000円、ただし中学生以下は税込み200円とします。検定問題につきましては、内容、問題数、試験時間等を検定実施要綱で示し、1、2級は200問、3級は100問の問題集を作成しまして、その中から出題することとします。問題集は、事前に配布し、市のホームページなどでも公開します。

認定階級と出題範囲は、3級が「なるほど なっとく 金次郎さん」から、2級が「なるほどなっとく金次郎」と「この人に学びたい～掛川の偉人ものがたり～」の偉人77名から。1級は、2級の出題範囲とその他の偉人36名を加えた範囲から出題します。

なお、27年度につきましては、2、3級の検定を行い、28年度以降は、1級も含め、全ての級の検定を行います。

検定の問題数と階級の認定基準は、3級が30問で正答率70%以上、2級が30問で正答率80%以上、1級は50問で正答率90%以上とし、各級認定者については、認定証を授与します。

検定問題の作成は、市民から検定問題を公募し、それを参考にして作成します。

表彰につきましては、各階級の得点上位者3～5名程度の方を表彰します。

金次郎と掛川の偉人を学ぶバスツアーは、参加料300円、小中学生及び一般を対象にして、金次郎と掛川の偉人に関する施設などの見学を行って、学びを深めます。

今後のスケジュールについては、本年12月15日から来年2月10日まで検定問題の公募を行い、来年4月13日から7月31日までの間、受験者の募集と出題問題の公開を行います。7月から8月には、バスツアーを実施し、8月下旬に検定を実施します。そして、10月に合格者の発表、11月に表彰式を行います。

説明は、以上です。御協議、よろしく申し上げます。

委員：この偉人検定事業は、毎年継続して実施していく予定ですか。

社会教育課長：毎年継続して実施していきたいと考えています。

委員：この偉人検定の合格者に賞品を出すお考えはありますか。認定証だけでも十分価値はあると思いますが、例としましては、1級に合格した人には、プレゼント的に市内公共施設に1年間無料で利用できるフリーパスを賞品として授与する等であります。

社会教育課長：今後、そのような形で検討していきたいと考えていますが、賞品につきましては、教育的な配慮をしたものを想定しています。尚、二宮金次郎に関連する事業でありますので、報徳社にも御協力をいただくこと等を考えています。

教育次長：現在建設中のステンドグラス美術館につきましては、小中学生は、無料で入館できる方向で条例を議会に上程しています。また、二の丸美術館につきましては、県内の美術館利用助成制度の施設として加盟しています。いずれにしましても、内部で検討していきたいと考えています。

委員：問題を考えるのが大変だと思いますが、毎年、新しい試験問題を考え、検定試験を実施していくのでしょうか。

社会教育課長：問題集を提供し、その中から、30問程度出題する予定であります。また、一般市民は「なるほどなっとく金次郎」と「この人に学びたい～掛川の偉人ものがたり～」の2冊の本を購入していただき、その中から出題していきたいと考えています。しばらくは、同じ問題集でと考えています。また、この事業を通して二宮金次郎や掛川の偉人を広めていきたいと考えています。

教育次長：金次郎と掛川の偉人を学ぶバスツアーも計画していますので、将来的には、そこに行かなければ解けない問題も取り入れていきたいと考えています。

教育長：初年度は、体験できない市民もいますので、問題集や2冊の本の中から出題をしていきたいと考えています。

他に意見はなく、承認された。

社会教育課長から、その他各種催し物について、以下のとおり説明があった。

「河井家文書における田中正造書簡展」の開催について、御案内します。

社会教育課文化財係では、年が明け1月7日水曜日から21日水曜日までの間、午前9時から午後5時まで、中央図書館1階生涯学習ホールにおきまして、市内上張の河井家から寄贈のあった歴史資料から発見された田中正造からの書簡24通と風刺画1点を展示しますので、御覧頂きたく思い、皆様に御案内します。よろしくお願ひします。

もう一つ、袋井市教育委員会との共催「<sup>まむしづかじょう</sup>馬伏塚城と高天神城展」の開催について、御案内します。

期間は12月6日土曜日から21日日曜日までで、大東図書館2階展示室を会場にします。また、丁度、衆議院議員選挙投票日と重なりますが、12月14日日曜日午後1時30分から3時30分まで、滋賀県立大学の中井均先生の講演会も開催されます。

合わせて御案内いたします。

## 報告事項

### (1) 掛川市内小中学校のあらわれについて

学校教育課主席指導主事から、掛川市内小中学校のあらわれについて、以下のとおり説明があった。

一つ目は、栄川中1年生が、市の職員を講師に招き、土砂災害について学んだという記事です。

二つ目は、横須賀小学校の児童が、横須賀高校の生徒と、交流活動を行ったという記事です。部活動を通じた生徒と児童の交流は、毎年、恒例となっています。

三つ目は、原田小学校で、生涯学習振興公社が行っている「地元芸術家・団体による学校の音楽活動等支援事業」の一環で、津軽三味線の公演を行ったという記事です。

四つ目は、北中学校の2年生が、市内60事業所において、3日間の職業体験学習を実施したという記事です。このキャリア教育は、市内9つの中学校で、毎年、どこも実施している体験活動です。市内の多くの企業・団体の協力があって、子どもたちの将来につながる体験として、成果をあげています。

五つ目は、西郷小学校の5年生が、田植えから稲刈りまで、児童が育ててきたお米から、もちつきをして食べ、収穫の喜びを体験したという記事です。

六つ目は、市内小学生のお茶博士を決める大会「T1グランプリ」が、報徳社で開催されたという記事です。西山口小の6年生杉山奈呼さんが優勝しました。

七つ目は、城東中学校区の3つの小学校の3・4年生が、城東中学校の体育館で、大日本報徳社講師で郷土史研究家の石野茂子さんを講師に招いて、報徳の教えについて学んだという記事です。

次に、10月の交通事故は、小学校2件、中学校1件でありました。特に大きな事故はありませんでした。

非行等問題行動は、小学校7件、中学校15件でした。特に大きな事件は起きていません。

10月の不登校は、小学校9人、中学校45人でした。

10月のいじめ問題については、小学校2件、中学校1件という状況でした。特に、大きな問題として指導・対応に入っている案件はありませんでした。

以上が、掛川市内小中学校のあらわれに関する報告となります。

委員：10月の不登校は、小学校9人、中学校45人で、昨年度の同月と同数であります。前月と比較した場合、如何でしょうか。

教育企画係長：9月の不登校児童生徒数を申し上げます。小学校5人、中学校39人です。

委員：不登校は、中学生の高校受験等が影響していますか。

教育長：不登校は、夏休み明けの9月から増加傾向にあります。原因としましては、本人の人間関係や生活のリズムの崩れ等が考えられ、高校受験等は、あまり影響していない様に思います。

10月の定例会でも報告をさせていただきましたが、西中学校のいじめ防止の生徒会活動に対し、社会を明るくする会から感謝状をいただきました。また、西中学校の防災活動の中の「手当て学」が、県知事褒賞をいただきました。また、同校が、税の作品において国税庁長官賞をいただきました。また、桜が丘中学校の養護教諭が、長年の功績が認められ、日本医師会会長表彰を受けました。これは、国のナンバー1表彰でありまして、県下でも長らくなかったことと聞いています。また、城東学園が、11月8日に静岡県の「子どもをはぐくむ地域活動団体表彰」を受けました。

委員：西中学校の表彰が多かった様ですが、訪問をさせていただき、生徒のあいさつや授業態度が良く、学校全体が安定していると感じます。また、学園化事業の一環として職業体験や講話など様々な取組を実施しているとお聞きしています。

教育長：これらの取組によって、21世紀型スキルを身につけることに結びつくのではないかと思います。

## (2) 市内小中学校長の読書おすすめ本について

学校教育課主席指導主事から、掛川市内小中学校長の読書おすすめ本について、以下のとおり説明があった。

市内小中学校長の読書おすすめ本」についてです。

今回、子どもたちの読書活動を推進するために、校長先生方自ら、子どもたちに読んでほしい本を推薦していただき、児童生徒へ紹介することにしました。推薦された本を見ますと、それぞれ校長先生方の、子どもたちへの思いが伝わってきました。

説明は、以上です。

図書館長：図書館でもいろいろな方の推薦本等の特集を検討していきたいと考えています。

委員：近頃、子どもたちと一緒に、親子で図書館をよく利用させていただいています。図書館に行けば、様々な魅力があり、リピーターとして足を運んでいます。いかに多くの方々に利用していただくサイクルを作り出すかが、課題だと思います。

教育長：第1弾として、校長先生等から推薦本の紹介をいただきましたが、第2弾、第3弾の企画を検討していきたいと考えています。

委員：校長先生等からの推薦本も、色々なジャンルの本があり、バラエティに富んでいて良いと思います。また、小学校に上がる前の子どもたちを対象とした推薦本も、保育園、幼稚園の先生方から選定していただけると良いと思います。

(3) 平成26年度掛川市全国学力・学習状況調査分析委員会からの報告、提言について

学校教育課主席指導主事から、平成26年度掛川市全国学力・学習状況調査分析委員会からの報告、提言について、以下のとおり説明があった。

平成26年度全国学力量習状況調査の分析結果についての報告冊子が完成しましたので説明します。各教科ごとの改善策を示し、よりよい学びの環境改善に役立つよう配慮されています。

教科の正答率と質問紙による調査結果をクロス集計等をとおして、新聞を読む子や基本的な生活習慣の身につけている児童の正答率が高いことや、確かな学力を身につけるための授業改善や生徒指導、道徳授業の充実、家庭学習等について具体的に提示しました。学校教育は勿論、家庭教育への啓蒙など学力向上対策に活用していきます。

説明は、以上です。

教育長：この平成26年度「さらなる学校改善に向けて」の資料については、教員が参考とするように策定されていて、ネット上にも公開されています。また、後半のページには、平成19年度から、これまでの経過がわかるデータが紹介されています。

委員長：読書習慣等の良い生活習慣が、学力と密接に結びついていますので、大切なことと感じます。

委員：学力・学習状況調査は、毎年、同じ学年の児童生徒が受けるのですか。

教育長：毎年、小学校6年生と中学校3年生を対象として、この調査が実施されています。

委員：小学校6年生と中学校3年生だとすると、結果を確認し、卒業してしまいます。そのため、リベンジができないので、悔しい思いをする児童生徒もいると思います。

委員：テレビや新聞報道で、この調査の対象を小学校5年生と中学校2年生にすれば、足りない部分を一定期間で補えるので、有効ではないかという意見もお聞きしています。

教育長：今年の中学校3年生は、特に調査結果が良かったのですが、この生徒たちが小学校6年生の時には、東北大震災の影響で、調査が実施されていません。今後は、小学校6年生の時の調査結果と中学校3年生になった時の調査結果の相関関係等を分析していくことも必要であると考えています。学年が上に行くに従って、成績の良い子とそうでない子との差が広がっていく傾向にあります。全体の底上げが重要課題だと考えています。

委員：資料の中に、携帯電話・スマートフォンの所持率の表記があり、本年度は67.5%という数値であります。大変高い率と思いますが、対策は考えていますか。

教育長：この所持率の問題につきましては、所持率が使用率のいずれか判断に迷う質問でありましたので、使用率が正しいと解釈されます。今後、この表記は、使用率に修正したいと考えています。

今年の調査結果を分析すると、問題の正答率に差が出た問題がありました。市によって使用する教科書が異なっていますが、良い結果の市では、教科書にそのことわざの解釈が、しっかり記載されていました。一方、良くない結果の市では、その解釈が、教科書に参考として記載されていなかったということが判明しました。問題の作成にも課題があると思われました。

委員長：良質な問題の中には、正答がない問題もあります。今までは、知識中心の問題が多かったのですが、最近では、深く考えさせ、いかに解決していくかといった問題もあります。これから生きていく子どもたちには、一方で知識問題も必要であるとは思いますが、さらに課題を解決していく問題が必要であると思います。それらの、問題を考え、解いていくことにより生きる力を身につけていくことにつながっていくと考えます。

#### (4) 第8回かけがわ教育の日の実績について

教育政策室指導主事から、第8回かけがわ教育の日の実績について、以下のとおり説明があった。

先日のかけがわ教育の日への御出席ありがとうございました。当日は、約650人の方々に参加をいただき、大盛況でありました。208人の方から提出していただきましたアンケート結果を報告します。一つ目は、オープニングアトラクションと「中学校区学園化構想」実践発表、「世界一短いメッセージ」の表彰等についてであります。たいへん良いと回答された方が、全体の60%、良いと回答された方が39%で、合計99%の高い評価をいただきました。二つ目は、基調講演についてであります。たいへん良いと回答された方が、全体の73%、良いと回答された方が27%で、合計100%の大変高い評価をいただきました。参加者からは学園化の構想など掛川の教育について理解できたといった声が多く聞かれ、かけがわの教育の発信イベントとしましては、大成功であったと思います。

一方課題としましては、駐車場の問題や施設の開館時間の問題等がありました。今後は、これらの課題に対して対策を講じ、来年度以降の運営に生かしていきたいと考えています。

当日行いました9中学校区の活動内容を中心とした「学園化構想」の展示につきましては、より多くの市民に学園について理解していただくために、11月29日の土曜日から12月14日の日曜日まで、中央図書館生涯学習ホールにおいて再展示を予定しています。

説明は、以上です。

#### (5) 図書館フェスティバルの実績について

図書館長から、図書館フェスティバルの実績について、以下のとおり説明があった。

かけがわ図書館フェスティバル2014の開催状況について報告させていただきます。

図書館フェスティバルは秋の読書週間に合わせ毎年開催しています。「すてきな出会いを図書館で」をテーマに、10月25日に行われた中村 榎子さんのオープニング講演会を皮切りに11月2日まで、中央・大東・大須賀図書館の3館で、図書館グループによる公開講座、展示、読み聞かせ、手作り工作などのイベントが行われました。オープニング講演会では、幼稚園

・保育園関係者をはじめ120人の参加をいただきました。講演では、中村さんが幼稚園や保育園に勤務していた体験談を交えながら、「遊び体験と関連させた本を読んであげることで、幼児の視野が広がっていく」と読み聞かせの効果を解説していました。

また、11月1日に大東図書館で開催された「こどもとしょかんまつり」では、おはなし会や簡単な工作教室、子どもビブリオバトルなど様々な催しを、図書館活動グループや市民団体と協働で開催し、延べ参加人数は900人と、1日親子連れでにぎわっていました。

また、各館でのイベントを掲載させていただきましたので、御覧いただきたいと思います。

#### (6) おすすめ本「ふくBOOKろ」の実施について

図書館長から、おすすめ本「ふくBOOKろ」の実施について、以下のとおり説明があった。

次におすすめ本「ふくBOOKろ」の実施について、説明と委員の皆様へお願いします。10月に開催された「第2回人づくり構想かけがわ推進本部会議」の時に図書館の施策推進状況で説明させていただきましたが、話題づくりと市民の読書活動につながることを目的に、おすすめ本「ふくBOOKろ」を新年の1月6日から実施したいと思います。おすすめ本の推薦は市長、副市長、教育長、そして、教育委員の皆様にも推薦をお願いしたいと思います。恐れ入りますが、市民におすすめしたい本を2冊、推薦いただきますようよろしくお願いいたします。お手元の推薦書に御記入いただき、FAXで中央図書館までお送りいただきたいと思います。

図書館からは以上です。

### その他

#### (1) 次回定例会等の日程等について

##### ① 12月教育委員会定例会日程

日 時： 12月25日（木） 午後3時00分～

開催場所： 南館教育委員会室

##### ② 1月教育委員会定例会日程

日 時： 1月30日（金） 午後1時30分～

開催場所： 中央図書館、二の丸美術館

##### ③ 2月教育委員会定例会日程

日 時： 2月23日（月） 午前10時00分～

開催場所： 南館教育委員会室

##### ④ 3月教育委員会定例会日程

日 時： 3月27日（金） 午前11時00分～

開催場所： 南館教育委員会室

#### (2) その他の予定について

##### ① 西山口小学校指定研究発表会

日 時： 11月28日（金） 午後1時30分～

開催場所： 西山口小学校

②教育委員視察研修

日 時： 1月13日（火）～ 14日（水）

視察先： 東京方面（小中一貫校・指定管理の美術館）

③第3回「人づくり構想かけがわ推進本部会議」

日 時： 2月19日（木）午後3時00分～

開催場所： 庁議室

(3) 教育委員先進地視察研修について

教育政策室から、平成26年度教育委員研修視察計画案について説明があり、以下のとおり方針が決定した。

①視察先 東京方面

- ・小中一貫校先進地（校舎一体型） 品川区立日野学園
- ・指定管理の美術館等の先進地  
世田谷美術館

※目黒区美術館については、当日、展示替えの時期のため美術品の鑑賞ができない。  
そのため、もう一つの視察候補である都立「庭園美術館」に問い合わせをして視察を受け入れてくれるかの確認を取ることとした。

②視察日 平成27年1月13日（火）～ 14日（水）

③交通手段 公共交通機関

